

特別編 1

九州工業大学明専アーカイヴ



明専アーカイヴ (近年、建物の歴史的な外観を残した修復工事が行われた)

基本データ

開設年月日：2009

所在地：〒804-8550 北九州市戸畑区仙水町1番1号

HPアドレス：<http://www.kyutech.ac.jp/information/meisen/index.html>

専任職員：なし (総務課が管理)

調査日 2011年8月25日

場所 九州工業大学 明専アーカイヴ

お話しいただいた方 総務課課長補佐 町田佳夫氏

調査者 富岡勝、藪下信幸 (記録・写真)

1. 明専アーカイヴについて

1-1 設置目的・設置経緯 ——明治専門学校の歴史資料保存のため——

明専アーカイヴは九州工業大学の前身となった明治専門学校（1907年私立明治専門学校設立、1921年には官立移管されて官立明治専門学校、1949年新制大学の九州工業大学設置）の膨大な歴史資料を永年にわたり保存・公開することを目的に設けられた。

明専アーカイヴは、前身となった資料館が所有する展示物が母体となっている。建学100周年事業の過程で明専アーカイヴと呼ばれるようになり、この時に資料のデジタル化がすすめられた。



展示室

1-2 組織形態 ——総務課による管理——

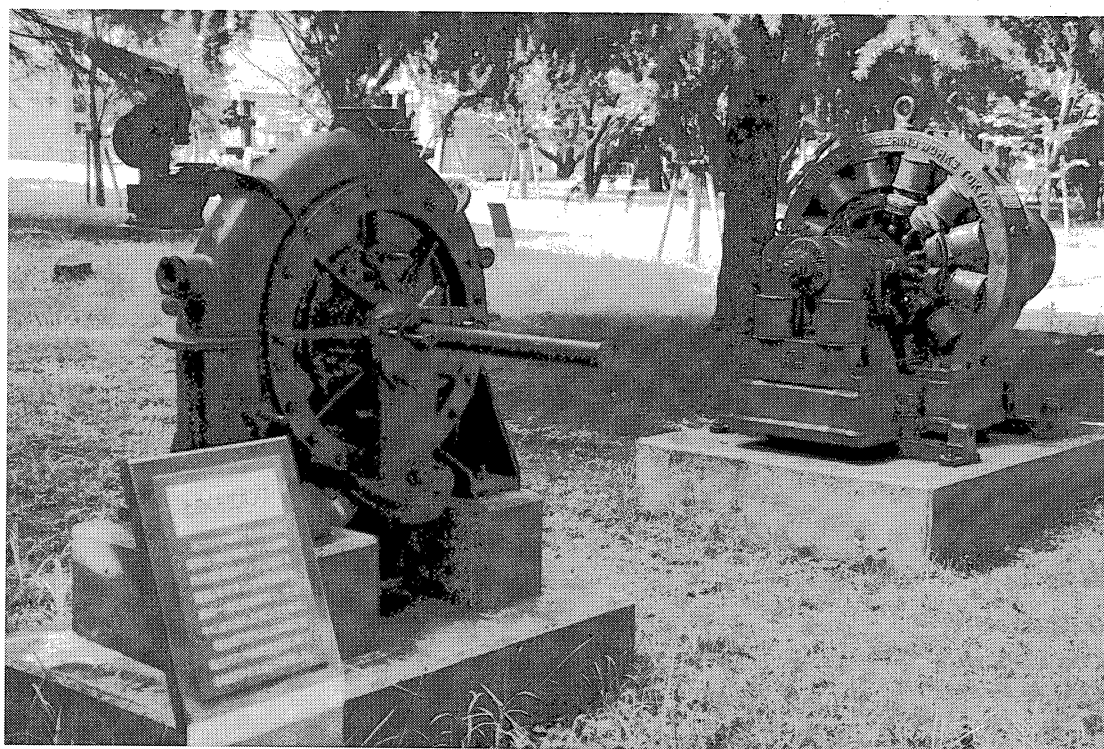
明専アーカイヴは大学の前身となった明治専門学校時代の膨大な歴史資料や事物を保存・公開することが主体である。また、常駐スタッフを置かず、総務課の職員で管理している状態である。

1-3 活動内容 ——見学者への公開——

上記のような事情により、明専アーカイヴの活動は、現状では明治専門学校関係の資料の保存と見学者への公開が主となっている。

明治専門学校の学内文書は、すでに収集されたものを引き継いで整理・保存する活動が中心であり、また、創業者安川一族に関する資料は北九州いのちのたび博物館が所蔵している。

公開は、見学希望者からの事前連絡があった場合に総務課職員が随時対応している。卒業生が休日での見学を希望するケースが多いので、こうした要望への今後の対応が課題となっている。



明治専門学校時代の機械類の屋外展示。経済産業省近代化遺産の指定を受けた。

また、近隣の小中学校が九州工業大学に見学を訪れることがあり、そうした際には明専アーカイヴが活用されている。大学の説明会の際にも明専アーカイヴのことを紹介している。大学のホームページには、明専アーカイヴを紹介する写真付きのページがある。

主要な展示資料としては、財団法人私立明治専門学校設立許可書、恩賜記念章銀時計、芳名録、渋沢栄一の書などがある。これらの資料を活用して、2009年に『九州工業大学百年史』と『九州工業大学百年史資料編』（いずれも九州工業大学百年史編集委員会編、明専

会発行) がつくられた。

明専アーカイブは、2009 度に改修され、専用の展示スペースに整然と展示され、総務課職員がカギを開ければいつでも見学者を受け入れられるようになっている。また、厳重保管の必要な資料はオリジナルを保管しながら、展示にはデジタル化したものを活用している。

このように、展示の整備には予算と労力がかけられてきており、卒業生や学外からの見学に対応するための準備は整っている。

調査を振り返って

明専アーカイブの資料のストックについては、質量ともかなりの充足を見ている。また、野外展示されている古い工業機械が建築物とともに経済産業省の近代化遺産に指定されており、九州工業大学が所有している歴史的資産の価値は極めて大きい。

大学のアイデンティティ構築や事務資料の収集といったアーカイブズの本質的な活動については、現在のところ本格的には取り組まれていないような印象を受けた。しかし、明専アーカイブという有力な基礎があるため、この方面での発展にむけて学内で合意形成がされた際には、発展するのではないかと思われた。

(富岡勝)